4部

秋期 Ⅲ・Ⅳ
スクーリングのご案内

1 スクーリング受講申込み

p. 29〜32の日程で秋期スクーリングⅢ・Ⅳを開講します。各科目２〜３日間の集中講義形式で行います（遅刻･欠席不可）。受講にあたっては，巻末のハガキを使用して，期限までの申込みが必要です。**はじめて受講される方は，『学習の手引き』８章を一読した上でお申込みください。**

開講時期	申込締切・履修登録締切	納入依頼書到着予定	受講料納入期限	スクーリング試験結果発送予定
秋期Ⅲ 10／29(土)〜11／13(日)	10／11(火)	10／18(火)（※10／18までに届かない場合は10／19に大至急ご連絡ください）	10／25(火)	12／13(火)
秋期Ⅳ 11／19(土)〜11／27(日)	10／27(木)	11／２(水)（※11／２までに届かない場合は11／３に大至急ご連絡ください）	11／10(木)	12／27(火)

1　スクーリング開講上のお知らせ

(1)　震災の影響により，仙台会場においては教室の変更の可能性があります。スクーリング当日は，学内の掲示にご注意ください。

(2)　ビデオ・スクーリングについては下記ページを参照し，ご了解いただいた上でお申込みください。

➜ 『学習の手引き』2011年版 p. 205，2008補訂版 p. 151

(3)　大学への市バス，JR仙山線は通常ダイヤで運行しています。仙台市内・隣接市町村の交通事情が悪く，やむをえず自家用車をご利用いただく場合でも大学キャンパス内への駐車はできません。北山セブンイレブン付近と，大石屋サトー付近にTimesのコイン式駐車場がありますが（『試験・スクーリング　情報ブック2011』 p. 90参照），台

数はきわめて限られています。なお，沿岸部在住者は本冊子ｐ. 16もご参照ください。

2　スクーリングに関するご案内

以下のとおり『学習の手引き』の関連ページなどをご参照ください。

(1)　申込みにあたって

●**申込み条件**　➔　2011年版ｐ. 195，2008補訂版ｐ. 141

●**申込（ハガキ記入）要領**　➔　2011年版ｐ. 195，2008補訂版ｐ. 141

●**受講科目の選択**　➔　2011年版ｐ. 193，2008補訂版ｐ. 139

※同じ時間に開講の科目は，いずれか１つしか受講できません。同一日でも授業時間が重なっていない科目は同時に申込みできます。

※これまでに科目修了試験に合格した科目であっても，受講することはできます。試験に合格すれば，スクーリング単位が修得できます。

●**受講許可証**　➔　2011年版ｐ. 196，2008補訂版ｐ. 142

●**スクーリング単位**　➔　2011年版ｐ. 194，2008補訂版ｐ. 140

●**受講料の納入**　➔　2011年版ｐ. 196，2008補訂版ｐ. 142

●**受講の取消・変更**　➔　2011年版ｐ. 196～198，
2008補訂版ｐ. 142～144

※震災・インフルエンザ関連を理由とする取消の場合は，返金手数料は特例で無料とさせていただきます。

※一つの受講期に複数の科目を申込み，そのうちの一部を取消す場合は**納入依頼書発行前に限り**，受講科目分のみの納入依頼書を発行します。「スクーリング受講科目取消確認書」を提出してください。

⑵　スクーリング受講の準備と受講にあたって

●宿泊の手配　➔　2011年版ｐ. 198,　2008補訂版ｐ. 144

※『試験・スクーリング　情報ブック』５部もご参照ください。

●学割の申請　➔　2011年版ｐ. 198・232〜235,
2008補訂版ｐ. 144・176〜179

●持ち物　➔　2011年版ｐ. 199,　2008補訂版ｐ. 145

●受講上の注意　➔　2011年版ｐ. 199〜200,
2008補訂版ｐ. 145〜146

●スクーリング試験　➔　2011年版ｐ. 200,　2008補訂版ｐ. 146

●別レポート　➔　2011年版ｐ. 200〜201,
2008補訂版ｐ. 146〜147

●遅刻・欠席・早退　➔　2011年版ｐ. 193,　2008補訂版ｐ. 139

※公共交通機関の延着を除き，スクーリング試験の受験は不可。ただし，『With』75号ｐ. ４〜５の震災特別配慮あり。

●キャンパスマナー　➔　2011年版ｐ. 201〜204,
2008補訂版ｐ. 147〜150

●高速バスの利用・公共交通機関の延着について
➔　2011年版ｐ. 20,　2008補訂版ｐ. 12

●インフルエンザ関連の注意　➔　2011年版ｐ. 19〜20,
2008補訂版ｐ. 11〜12

●スクーリング会場　➔　『試験・スクーリング　情報ブック2011』
ｐ. 64〜79・86〜92・105〜110

※仙台会場の教室は予定です。当日の掲示にご注意ください。なお，マルチメディア教室は土足厳禁ですので，必要に応じてスリッパを持参ください。

2 秋期スクーリングⅢ　開講科目一覧

◆印＝平成20年度以前入学者を受講対象とするスクーリング
★印＝平成21年度以降入学者を受講対象とするスクーリング
◆★印＝全学生を受講対象とするスクーリング

１年生以上配当科目

10月29日㈯・11月３日㈭　川口　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	社会心理学 VTR	吉 田 綾 乃	1	6	5,000円
時間割		10／29　９：30〜12：30　　11／３　10：00〜16：40				
会　場		リリア　11階大会議室 ➔『情報ブック2011』ｐ.75				

11月５日㈯・６日㈰　札幌

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	社会心理学	吉 田 綾 乃	1	6	5,000円
時間割		11／５　13：30〜17：50　　11／６　９：30〜14：40				
会　場		札幌市教育文化会館　３階研修室302 ➔『情報ブック2011』ｐ.66				

11月５日㈯・19日㈯　川口　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	福祉心理学 VTR	渡 部 純 夫	1	6	5,000円
時間割		11／５　10：00〜16：40　　11／19　10：00〜12：50				
会　場		リリア　11階大会議室 ➔『情報ブック2011』ｐ.75				

11月12日㈯・13日㈰　仙台

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	ボランティア論	小 野 芳 秀	1	6	5,000円
時間割		11／12　12：40〜17：00　　11／13　10：00〜15：10				
会　場		東北福祉大学　３号館３階332教室				

２年生以上配当科目

11月４日㈮～６日㈰　仙台　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
	★	社会福祉援助技術総論 VTR	佐藤 博彦	2	12	10,000円
時間割		11／４　10：50～17：30　11／５　10：00～16：40 11／６　９：20～16：00				
会　場		東北福祉大学　マルチメディア教室				

11月５日㈯・６日㈰　新潟　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆		社会福祉援助技術論Ⅱ VTR	都築 光一	1	6	5,000円
時間割		11／５　10：50～17：30　11／６　10：00～12：50				
会　場		新潟医療福祉カレッジ２号館 ➔『情報ブック2011』ｐ.79				

※受講にあたっては，新しい教科書『社会調査の基礎　第２版』（社会福祉士養成講座５　中央法規出版）の持参が必要となります。お持ちでない方は，図書館での借用，書店や通信教育部からの購入などで，必ず事前にご準備ください。

11月12日㈯・13日㈰　仙台

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	カウンセリング演習Ⅰ	神春美 末冨美貴	1	8	7,000円
時間割		11／12　10：30～17：10　11／13　９：20～16：00				
会　場		東北福祉大学　ステーションキャンパス館５階Ｓ500教室				

11月12日㈯・13日㈰＋12月３日㈯・４日㈰　札幌

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆		医学一般	澤田悦子 山本邦男	2	12	10,000円
時間割		11／12　13：30～17：50　11／13　９：30～14：40 12／３　13：30～17：50　12／４　９：30～14：40				
会　場		かでる２・７　７階730研修室 ➔『情報ブック2011』ｐ.65				

※新カリキュラム「★保健医療サービス論」の教科書の所持が必要です。
※新カリキュラム「★医学一般」「★保健医療サービス論」の２科目の合併授業のため，スクーリング中２回の試験が実施されます。

11月12日(土)・13日(日)　札幌

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
	★	医学一般	澤田 悦子	1	6	5,000円
時間割		11／12　13：30〜17：50　　11／13　9：30〜14：40				
会　場		かでる２・７　７階730研修室 ➔『情報ブック2011』p.65				

３年生以上配当科目

11月５日(土)・６日(日)　新潟　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
	★	社会調査の基礎 VTR	都築 光一	1	6	5,000円
時間割		11／５　10：50〜17：30　　11／６　10：00〜12：50				
会　場		新潟医療福祉カレッジ２号館 ➔『情報ブック2011』p.79				

※受講にあたっては，新しい教科書『社会調査の基礎　第２版』（社会福祉士養成講座５　中央法規出版）の持参が必要となります。お持ちでない方は，図書館での借用，書店や通信教育部からの購入などで，必ず事前にご準備ください。

11月19日(土)・20日(日)　川口　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
	★	保健医療サービス論 VTR	山本 邦男	1	6	5,000円
時間割		11／19　13：50〜16：40　　11／20　10：00〜16：40				
会　場		リリア　11階大会議室（11／20は中会議室） ➔『情報ブック2011』p.75				

3　秋期スクーリングⅣ　開講科目一覧

１年生以上配当科目

11月19日(土)・20日(日)　盛岡

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
	★	高齢者福祉論	中里　仁	1	6	5,000円
時間割		11／19　10：00〜16：40　　11／20　9：30〜12：20				
会　場		岩手教育会館　第１会議室 ➔『情報ブック2011』p.69				

11月19日(土)・20日(日)＋12月17日(土)・18日(日)　盛岡＋仙台

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆		高齢者福祉論	中里　仁 後藤美恵子	2	12	10, 000円
時間割		11／19　10：00〜16：40　　11／20　9：30〜12：20 12／17　13：10〜17：30　　12／18　9：20〜14：30				
会　場		11／29・20　岩手教育会館　第１会議室 ➔『情報ブック2011』ｐ. 69 12／17・18　東北福祉大学　マルチメディア教室				

※2009年度に「◆介護概論」を受講した方は，講義の後半部分がほぼ同じ内容になります。
※新カリキュラム「★高齢者福祉論」「★介護概論」の２科目の合併授業のため，スクーリング中２回の試験が実施されます。

11月26日(土)・27日(日)　札幌　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	福祉心理学 VTR	渡部 純夫	1	6	5, 000円
時間割		11／26　13：30〜17：50　　11／27　9：30〜14：40				
会　場		かでる２・７　７階730研修室 ➔『情報ブック2011』ｐ. 65				

２年生以上配当科目

11月19日(土)・20日(日)　仙台　ビデオ・スクーリング

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
	★	福祉法学 VTR	菅原 好秀	1	6	5, 000円
時間割		11／19　12：40〜17：00　　11／20　10：00〜15：10				
会　場		東北福祉大学　マルチメディア教室				

11月19日(土)・20日(日)　仙台

対象		科目名	担当教員	S単位	コマ数	受講料
◆	★	統計情報を見る眼	平川 昌宏	1	6	5, 000円
時間割		11／19　13：20〜17：40　　11／20　9：30〜14：40				
会　場		東北福祉大学　２号館３階230教室				

4 『レポート課題集』などに申込み案内のある科目

10／29〜11／27の期間に開講されるもの。

３年生以上配当科目

◆社会福祉援助技術演習Ⅱ・★演習Ｂ

関川 伸哉	10／29　９：20〜17：30 10／30　９：00〜14：10	仙台：東北福祉大学 ステーションキャンパス館 ４階Ｓ403教室・５階Ｓ502教室
川口 正義	11／５　10：00〜16：40 11／６　９：20〜16：00	東京：プラザ平成　４階会議室２
関川 伸哉 佐藤 博彦	11／12　10：50〜17：30 11／13　９：20〜16：00	仙台：東北福祉大学 ５号館１階６〜９演習室

１単位めレポート（スクーリング事前課題）　提出締切10／15

◆★精神保健福祉援助演習

阿部 正孝 大和田誠子	10／29　10：50〜17：30 10／30　９：00〜14：10	仙台：東北福祉大学 ステーションキャンパス館 ２階Ｓ200・Ｓ201教室
志村 祐子 阿部 正孝	11／５　10：50〜17：30 11／６　９：30〜14：40	仙台：東北福祉大学 １号館２階121・122教室

１単位めレポート（スクーリング事前課題）　提出締切10／15

４年生以上配当科目

◆★特講・社会福祉学５（社会福祉士国家試験対策講義）

阿部 裕二 田中 治和 柴田 邦昭 竹田 征子 三浦　剛 佐藤 博彦	10／29　10：50〜17：30 10／30　９：20〜16：00	仙台：東北福祉大学 ステーションキャンパス館 ５階Ｓ500教室

※受講申込は５／10に終了しております。

◆★特講・社会福祉学７（精神保健福祉士国家試験対策講義Ｂ）

阿部 裕二 佐藤眞喜人 八巻 幹夫 ほか	10／29　10：50〜17：30 10／30　９：20〜16：10	仙台：東北福祉大学 ステーションキャンパス館 ５階Ｓ500教室 （10／30はＳ501教室）

履修登録・取消　締切９／30

◆社会福祉援助技術現場実習指導（事前）

未定	11／５　10：00〜16：40	仙台：東北福祉大学 ５号館１階６〜９演習室

課題１-①（実習計画案）　提出締切10／14　　課題１-②（課題ノート）　当日持参

◆社会福祉援助技術現場実習指導（事後）

阿部 一彦 田中 治和	11／19　10：50〜17：30	仙台：東北福祉大学 ２号館３階16〜18演習室
渡辺 憲介	11／26　11：20〜18：00	札幌：かでる２・７ ３階330会議室
佐々木裕彦	11／26　10：00〜16：40	盛岡：アイーナ　８階会議室802
竹之内章代	11／26　10：00〜16：40	川口：リリア　11階大会議室
小山　剛	11／26　10：00〜16：40	新潟：新潟医療福祉 カレッジ２号館

課題３-①（実習事後レポート）　提出締切10／28(11／19受講希望者)，11／４(11／26受講希望者)
課題３-②（課題ノート）　当日持参

★社会福祉援助技術実習指導Ｂ（Ｂ-３）＋★社会福祉援助技術演習Ｃ（Ｃ-２）

阿部 一彦	11／19　10：50〜17：30 11／20　９：20〜16：00	仙台：東北福祉大学 ２号館３階16〜18演習室
渡辺 憲介	11／26　11：20〜18：00 11／27　９：20〜16：00	札幌：かでる２・７ ３階330会議室
佐々木裕彦	11／26・27 10：00〜16：40	盛岡：アイーナ　８階会議室802
竹之内章代	11／26・27 10：00〜16：40	川口：リリア　11階大会議室 （11／27は中会議室）
小山　剛	11／26・27 10：00〜16：40	新潟：新潟医療福祉 カレッジ２号館

指導Ｂ：課題３・４・５（実習事後課題）　提出締切10／28（11／19受講希望者），11／４（11／26受講希望者）

◆★精神保健福祉援助実習（事前指導）

阿部 正孝 八巻 幹夫	11／20　10：00〜16：40	仙台：東北福祉大学 ２号館３階16〜18演習室

課題１-①（実習計画案）　提出締切10／17　　課題１-②（課題ノート）　当日持参

5 スクーリング講義概要

■秋期スクーリングⅢ

社会心理学　吉田　綾乃

社会心理学は，私達が日常生活の中で経験している，様々な「なぜ？」について，科学的に解明しようとする学問です。講義では，社会心理学者が行った興味深い研究を紹介しながら，人や集団の行動の理由について考えていきたいと思います。トピックとしては，対人認知，態度形成，援助行動，攻撃行動，集団行動などを取り上げる予定です。そして，講義を終えて皆さんが普段の生活に戻ったとき，“これは社会心理学でいうところの△△だ”と気づくことができるようになることを目指したいと思います。なお，専門用語の理解がある程度必要になりますので，必ず**事前にテキスト**（平成18年度以前のもの，19年度以降のもの，どちらでも可）**を一度読んできてください。**

ボランティア論　小野　芳秀

少子高齢化が年々進行していくなか，福祉施策における公的サービスには，財政や人員等において限界があります。福祉サービスがより充実するためには，住民同士の助け合い等，地域全体でサービスを必要としている人々を支える仕組みが不可欠です。今まさに地域におけるボランティア活動は，福祉サービスを担う一つのシステムとして機能することが期待されています。

本講義では，ボランティアに関する理論や実践的な方法論について解説し，ボランティアが実際の活動を通して直面する課題について，当事者と推進・支援者の視点から論議します。

地域コミュニティの構築と福祉サービスの創造にたいし，ボランティア活動が果たす役割とその可能性について共に考えましょう。

カウンセリング演習Ⅰ　神　春美　末冨　美貴

『レポート課題集2011(１・２年次)』ｐ.268をご参照ください。

◆医学一般（４単位）

澤田　悦子
山本　邦男

下記「★医学一般」と『With』77号ｐ.57「★保健医療サービス論」を参照ください。

※「★保健医療サービス論」の教科書の所持が必要となります。

※新カリキュラム「★医学一般」「★保健医療サービス論」の２科目の合併授業のため，スクーリング中２回の試験が実施されます。

★医学一般（２単位）

澤田　悦子

■スクーリングで学んでほしいこと

医学的な知識を学ぶ際には，仕事だけでなく，私たち自身の日々の暮らしに活かせるような学び方が大切です。そのために，まず基礎的な人体の理解をし，身近な疾病や老化についての理解を深めることを学習目標とします。

スクーリングでは，仕事や日常生活における身近な内容について，教科書から抜粋して講義します。講義できない部分も重要ですので，教科書を読んでおいてください。

社会福祉関係の職種では，人の話を聞いて要点をまとめたり，何が重要なのかを判断したり，相手が言いたいことは何かを考えたりすることも必要です。経験を通して得られる能力ですから，既に医学の知識を十分に持っている人も，そのようなことを念頭に置いてスクーリングの機会を役立ててください。

■スクーリング講義内容

１）医学一般のレポートの書き方，人体の構成，循環器の機能と疾病
２）呼吸器・泌尿器の機能と疾病
３）神経の機能と疾病
４）代謝，骨・関節の機能と疾病，高齢者の身体の特徴と疾病
５）生活習慣病，感染症
６）試験（60分）

■スクーリング評価の基準

授業中の態度およびスクーリング試験（持込み全て不可）

試験は説明問題で，講義内容の中から出題します。

■スクーリング時の教科書

教科書『人体の構造と機能及び疾病』（2009年版以降）または教科書『医学一般』（2007年版以前）を参考程度に使用します。

配布資料にそって講義しますので，どちらの教科書でも問題ありません。

■スクーリング事前学習

教科書の中のスクーリング講義内容に関連した箇所に一通り目を通し，レポート課題にも目を通しておいてください。特に，高校で生物を選択していない場合には，難しい専門用語が多く理解困難と感じるようです。時間が限られており，基礎の講義は残念ながらできませんので，事前に教科書に目を通して，そのような用語に慣れておいてください。

■秋期スクーリングⅣ

◆高齢者福祉論（４単位）

中 里　　仁
後藤　美恵子

下記「★高齢者福祉論（２単位）」と『With』75号ｐ.39「★介護概論（２単位）」をご参照ください。

※「★高齢者福祉論（２単位）」と「★介護概論（２単位）」の２科目の合併授業のため，スクーリング中２回の試験が実施されます。

※2009年度に「◆介護概論（４単位）」を受講した方は，講義の後半部分がほぼ同じ内容になります。

★高齢者福祉論（２単位）

中 里　　仁

■スクーリングで学んでほしいこと

制度や政策の内容を，テキストをとおし学ぶことも大切ですが，なによりも対象者となる高齢者（人間）の福祉，即ち，高齢者の「人権・尊厳・自立とはどのようにあるべきなのか」について，受講者の皆様ひとりひとりが感じ考えていただきながら，高齢者福祉の捉え方，その際に必要な視点について，学んでいただきたいと考えております。

何故なら，高齢者の方々の人権・尊厳・自立のあるべき姿についての学ぶことは，結果，私たちの親を含めた自身の将来，そして，子供たちの将来にも通ずる大切な学びであると考えるからです。

具体的な講義の内容については，高齢者の方々が抱える生活上の諸問題について，視聴覚教材を中心に，その現状理解を図っていただくと共に，実践事例の紹介を交えながら，高齢者福祉の現状と課題，改善策，今後のあるべき姿について，受講生の皆さんと共に感じ考えることの出来る，スクーリングにしたいと考えております。

■スクーリング講義内容

1．高齢者福祉の捉え方（ジェネリックな視点をもって）
2．高齢者の尊厳についてⅠ：寿で暮らす高齢者から
3．高齢者の尊厳についてⅡ：自立を目指す知的障害を有する高齢者から
4．高齢者の尊厳についてⅢ：高齢者の虐待から
5．高齢者福祉の現状と課題：高齢者福祉施設の現状から
6．これからの高齢者福祉の方向性について：地域福祉の視点から

■スクーリング評価の基準

出席＋スクーリング試験（レポート形式）：持ち込みすべて可

■スクーリング時の教科書

「高齢者に対する支援と介護保険制度」（新・社会福祉士養成講座13　中央法規出版）を参考程度に使用します。

統計情報を見る眼

平川　昌宏

■スクーリングで学んでほしいこと

私たちは普段テレビや新聞などでたくさんの統計情報に接しています。統計情報は物事を客観的に理解し，人に伝える上で非常に有効で便利なものです。さらに，統計情報を適切に「読みこなし」「使いこなす」ことによって，そこから有益な結論を論理的に導き出すことができます。この講義では，まず，統計情報の種類やそれらの特徴について理解することを目的とします。さらに，それを解釈する際の統計的な考え方について学んでいくことを目的とします。

スクーリングでの学習を通して，普段接している統計情報を，それまでとは異なった視点で眺め，「読みこなし」「使いこなせる」ようになって頂ければと思います。また，受講生の皆さんが自身の「明らかにしたい事柄」について科学的にアプローチするための方法として，統計や統計的な考え方を身につける第一歩として頂ければと思います。

なお，統計情報は事象を数値的に処理したものであり，統計情報についての理解を深める上である程度の数学的な知識が必要になります。今回のスクーリングでも，理解を深めるために簡単な計算をして頂きます。特に計算の苦手な方は，電卓を持参して下さい。

■スクーリングの講義概要

スクーリングにおいては，以下の内容について講義を行います。

1）データの世界を理解するための統計・一般の世界を推測するための統計
2）統計情報の落とし穴：「統計詐欺」の３つのパターン
3）データの種類と特徴

4）頻度や割合に基づく「データの世界」の理解
5）「平均」に基づく「データの世界」の理解
6）データのばらつきを理解する
7）２つの変数の関係を理解し，解釈する
8）「データの世界」から「一般の世界」へ
9）検定の考え方

■スクーリング評価の基準

出席＋スクーリング試験（持込すべて可）。

■スクーリング時の教科書

教科書『考える技術としての統計学』は参考程度に使用します。

■スクーリング事前学習

特定の学習課題はありませんが，皆さんの身の回りの統計情報について意識して目を向けるようにしておいて下さい。そして，スクーリングを受講した後で，その統計情報についての見方に変化があったかどうかを確かめて頂きたいと思います。